

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

農地局

農業土木技術者研修（初任者研修）（前期）を実施！ ～農業土木技術者の役割とお茶について学んだ2日間～

7月17日（水）、18日（木）の2日間、農業土木技術者研修（初任者研修）（前期）を行いました。

採用1年目の県職員10名と新任の市町及び土地改良事業団体連合会、土地改良区職員20名が参加しました。

この研修は、農業土木職員として必要な農業農村整備事業に関する基礎的知識を学ぶとともに、農業・農村施策を総合的に実行し、時代のニーズに応えられる農村振興技術者を育成することを目的としたものです。

1日目は、県庁の会議室（Web併用）で、農地局職員が講師となり、農業農村整備事業に関する基礎的知識について学びました。

講義では、みんなで輪になりながら農地の集積・集約化するための計画を立てるワークショップをするなど、難しい内容ながらも真剣に取り組んでいました。



2日目は、志太榛原農林事務所管内（島田市）にある複数の現場を見学し、静岡県の特産品の「お茶」についての基礎知識と、「お茶」の一大産地である牧之原台地での茶園基盤整備事業などについて学びました。

また、茶園基盤整備事業を実施し、完了した地区（西原地区）の営農者の方から、当時の事業実施の大変さやお茶の生産事情などをお聞きできる場もあり、私たち農業土木技術者として一丁目一番地である、基盤整備事業の大切さを知ることができた研修でした。

今後も若手職員の育成について、農地局職員一丸となって様々な研修を企画していきます！



農地局

静岡県庁インターンシップ（農業土木）
を受け入れました！

8月26日（月）～30日（金）、農業土木に興味や関心、就職志望のあるインターンシップ生1名を受け入れました。

中部農林事務所の職員とともに農業基盤整備の現場（畑総新丹谷地区、畑総池ノ沢地区）を見学し、大区画かつ平坦な樹園地になったことで生産性が飛躍的に向上したこと等、効果について説明を受けました。

次に、地域活性化策に取り組む農村（美しく品格のある邑「清水区西里地区」）を訪れ、美しい原風景の保全や都市との交流を促進するための県の支援などについて説明を受けました。

さらに、若手職員との座談会を通じて、農業土木の役割や仕事の醍醐味を体感していただきました。

今後も、農業土木職員の人材確保に向けて、取り組んでまいります。



農地局農地計画課 054-221-2723

志榛

水田水管理システムの体験会が開催されました



給水ゲート設置の様子



水位センサー

焼津市の静浜地区で、農業者向けに水田の大区画化に向けた水管理システムの体験会が開催されたため参加しました。

今回紹介されたのは、スマホで遠隔監視、操作のできる水位センサーと給水ゲートで、配線不要なため設置が容易であり、通信費などのランニングコストがかからないタイプのものでした。

開水路に設置する給水ゲートは構造が単純で、農家自ら調整、補修ができ、台風などの荒天時には取外して退避させておくことも可能となっています。

大区画化にあたっては営農労力の軽減も課題であるため、ICTを活用した水管理についても検討していきます。

志太榛原農林事務所農村計画課 054-644-9123

倉沢の棚田で草刈り等の作業イベントを実施！

菊川市にある倉沢の棚田は、静岡県棚田等十選に選定されており、NPO法人せんがまち棚田倶楽部や静岡大学棚田研究会が中心となって保全活動を行っています。

また、棚田の保全活動を通じ、多様な人々の参加による地域活動が行われており、「千框の棚田」として、「ふじのくに美しく品格のある邑」に登録されています。

令和6年8月3日（土）に草刈りや生き物教室、ガードレールの塗装等、様々な作業を体験できるイベントが行われ、総勢120名が参加しました。

中遠農林事務所では、今後も、地元による棚田の保全活動を支援してまいります。



中遠農林事務所農村計画課 0538-37-2290